



豊國由

女房形氣三編半

教  
訓  
女  
房

錦  
襪  
堂  
校

形  
氣  
二  
編

上  
卷

京  
山  
作

豊  
國  
画

弘  
化  
丁  
未  
新  
梓



教  
訓  
女  
房  
形  
氣  
二  
編  
上  
卷

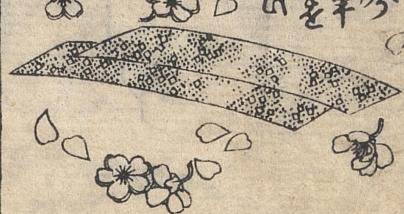
一





三九郎袖とあてせんが唯成のうじゆれ絵縫と志のい故事の弘化の今  
 説とあ唇の前編の二の巻ホアスナリ今は女房形氣の二つの事を  
 そなへてよそのひへた西名六百年ほの女房のかほを  
 女房形氣してして合せがまとまつまえかの明智光秀  
 が妻のため不堅をうりなりとのふくすへん好幸の人  
 件の唯成妻妻の娘をやひるやう虚言するも  
 わにやも母子のなみふ娘ときてうり事世続の  
 貢媛の部小アミヤと女房ちづねばあるよ本  
 色情のためふ娘をさう一事西土ゆあまくあり  
 さまごとあふ用ふければとぎく

### 女房形氣二編発端



○ねぐらのともみく  
初ん小あすけられ  
よひそあらゆり  
さるやとふるも  
ことてらふ京を  
たちのきりきさう  
あをたまふか  
ありえむら人の  
まことありてるちをれ  
ゆゑをりてすまめ  
おもひへかめと名せ  
うえりゆりとす  
ことがへてら土口と名せ  
かえそりゆゑとのやと  
かえふあるかのとひ  
たの人のまきせんさ  
えいざきのゆゑの  
かこよくとゆく不

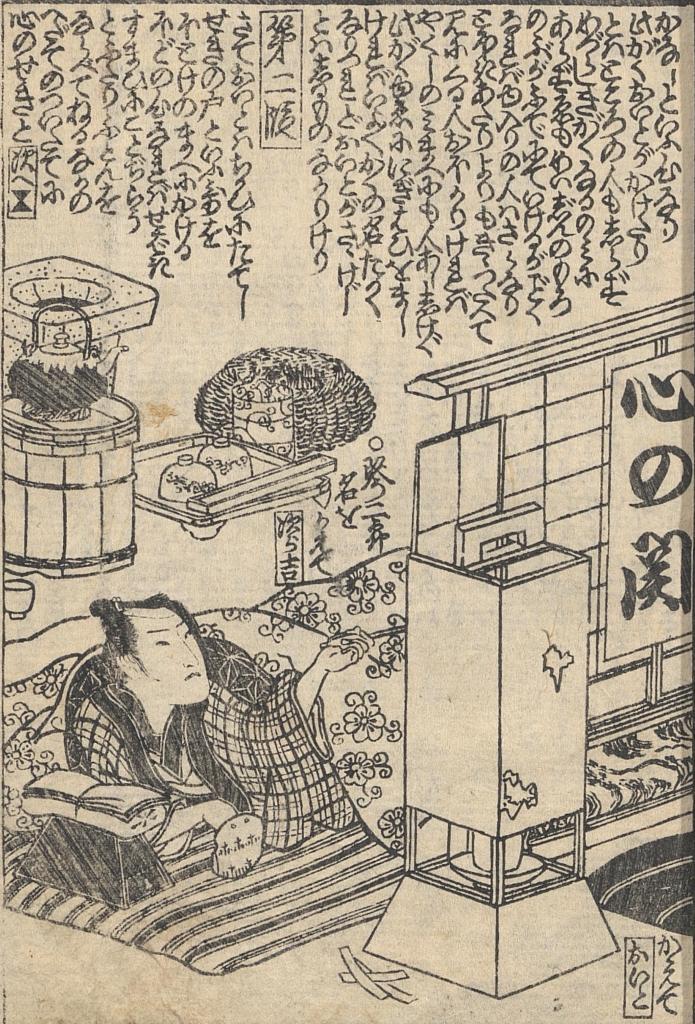
（二）わからぬ者やうの  
人のふうをとへて



心の溪  
かみとくみ  
はかくあらうかくす  
とれどそうの人もあらう  
わうしきがくろのまか  
あらむるあらむるのゆう  
のぶがんでゆくゆくたゞ  
るよしゆうの人にさうさ  
るよしゆうあらゆりもすつて  
石ふくの人がわらけます  
やく一のまきあも人ああ大  
ばかくゆゑふにまうひとす  
けもぐくべくみねたづく  
るよきとくがのとくさくは  
とあるのみづけり



第一版



二











目録

新撰狂句會	立齋廣重画
ちり塚物えり	大尾作
教草女房形氣	九編
離鶴笠湯壽	全一冊

品定五人娘  
京山作  
豊国画

初編二編

深氏雨夜のふきかねおひ五人の娘あ  
らわにあら大形年もうさうとからくまあれ  
むとさきよどねのまのとあうろく  
むきだがれやめみあけよとおかり

江戸中橋廣小路	芳扇画
山田屋庄兵衛板	大尾藏二冊



